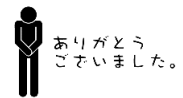


## 放課後等デイサービス評価まとめ

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか？	17	1		・いつもの部屋に皆が集まると(始まりの全体の挨拶などで)狭く感じるが、活動が始まると工夫され分担されるためスペースが取れている
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか？	17	1		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの配置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか？	17	1		・らせん階段の手すり(下からあがる最初の)角によく顔をぶつけます、ちょうど子供の顔にあたるのかも。ほかの子がぶつけているのも、ちよくちよく見かけます
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで、放課後等デイサービス計画が作成されているか？	18			・子どもの性格など見てよく計画してくれている
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか？	17	1		・夏休みなどいろいろな計画を立ててくれて毎日楽しく過ごせた
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか？	18			・デイの子たちだけでなく全部一緒に行動してくださっているのがとても良いです ・いっぱいあって良いと思う
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明がなされたか？	18			・面談でいっぱい話せた
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解が出来ているか？	17	1		・できていると思う
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか？	18			・子どもの事、家庭の事、学校より密に相談させていただいています ・できていると思う
	⑩	父母の会の活動の支援や保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか？	18			・きりんの保護者のきずなはずごい!!
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか？	17	1		・すみやかに対応してくれている
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか？	18			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか？	18			
	⑭	個人情報に十分注意しているか？	18			
非常時 等	⑮	緊急時対応マニュアル、防止マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知しているか？	17	1		

すの 対応	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練、救出、そのほかに必要な訓練が行われているか？	17	1		・子どもから「今日訓練やったんだ」とよく聞く
満足度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか？	17	1		・楽しみにしています・本人の問題です、楽しい日もあればイヤな日も… ・すごく楽しみにしている
	⑱ 事業所の支援に満足しているか？	18			・大満足です、今後ともよろしくお願ひ致します ・本当に感謝しています

皆さま、お忙しい中で保護者向け事業所にご協力くださり、ありがとうございました。驚くほどに「はい」の評価が多く、驚いています。皆さまの期待に沿うよう、これからも事業運営を進めてまいります。



“ご意見”欄に書いてくださった事について、下記にご回答いたします。

◎ **部屋の広さについて**

出席人数が多い時には、おやつを食べる場所を2～3か所で分けたり、雨天には社会館の利用可能なスペースも積極的に活用しています。狭さはありませんが、子どもたちが一堂に会して話し合ったりする活動も大切に考えています。まだまだ工夫できそうです。

◎ **らせん階段について**

調度子どもの顔に当たる部分が危険であるというご指摘をいただきました。法人と相談して対応をしていこうと思います。ありがとうございました。

◎ **「通所を楽しみにしているか」**

これが100%「はい」でないことは、事業所として考えなくてはなりません。大変申し訳ありません。今後もより一層、子どもたちが楽しみにできる場所となるように職員一丸となって努めてまいります。

昨年の夏休み明けに実施しました「保護者向け事業所評価」のま  
とめ返信が遅くなりましたこと、お詫び申し上げます。

夏休みからクリスマスの取り組みと支援が進み、子どもたち同士  
の中が深まっていた様子がありました。学童の子どもたちと自然  
なやり取りがうまれて、誘い合う様子があちらこちらに見られます。

できるようになったことだけでなく、我慢できたことや頑張ろう  
としている気持ちを認め合える関係性があります。大人が汲めて  
いなかった心の動きに気付いてくれる場面もあります。

次年度も学童との日常的な交流を軸にして、子どもたちの成長

